

平成 3 0 年度再評価対象事業
(対象：平成 2 5 年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

| 番号 | 項目 | 事業名 (路・河川名等) | 事業目的 | 事業概要 | 事業の進捗状況 | 事業を巡る社会経済情勢等の変化 | 費用対効果の要因の変化 | CO2削減や代替案等の可能性 | 再評価理由 | 対応方針 (事業課案) |
|----|--------------------|--------------------------------|--|---|---|--|---|---------------------------|---------------|---|
| | 再評価 時点 H 2 5 | 町田川 河川整備交付金事業 (総合流域防災事業) | 流路是正、狭窄部解消を行い、土地区画整理事業と一体となった整備を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 ・計画流量 165m ³ /s ・計画治水安全度 1/30 | 全体事業費：C=90億円 工期：S58～H32 改修延長：L=4,170m 事業内容：掘削・築堤 護岸、橋梁10基、堰5基 | 中流部、下流部の河床掘削、橋梁補強を残し改修が完了している。 (H24末進捗率 95%) (年平均進捗率 3.2%) | (過去の災害実績) H2.7 浸水戸数 430戸 農地浸水面積 550ha (地域の状況) 流域内にて、S55年から唐津駅南土地区画整理事業が始まりH16完了。また、山口川流域は民間業者による宅地開発が進み、地域の治水安全度の向上が望まれている。上流部に国道204号が開通し、商業地域化が進んでいる。 | 最新のマニュアルに基づき、費用対効果を算出した。 (B/C) = 10.6 | ・再生材の積極的利用 ・建設副産物の有効利用 | 再評価実施後 5 年が経過 | 継続 |
| | 現時点 H 3 0 | 町田川 河川整備交付金事業 (総合流域防災事業) | 流路是正、狭窄部解消を行い、土地区画整理事業と一体となった整備を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 ・計画流量 165m ³ /s ・計画治水安全度 1/30 | 全体事業費：C=95億円 工期：S58～H35 改修延長：L=4,170m 事業内容：掘削・築堤 護岸、橋梁10基、堰5基 | 新大橋上流の人道橋より上流の河床掘削を残し改修が完了している。 (H29末進捗率 96%) (年平均進捗率 2.7%) | (過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 特になし | 最新のマニュアルに基づき、費用対効果を算出した。 (B/C) = 11.3 | 同上 | 再評価実施後 5 年が経過 | 平成 2 年、平成 10 年等の洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。 |
| | 理由等 | | | 河道掘削に伴う既設護岸補強が必要になったことによる事業費の増 商業地内かつ家屋連担地内での騒音・振動対策による工期の延長 | | | 前回再評価時と比較し、資産数量(世帯数)及び家屋評価単価の増加によりBが増大し、費用対効果(B/C)の増となった。 | | | |

